



## 6) 遠藤周作 — 文化、時代、信仰を超えた作家との出会い

### 講座内容

2026 年は遠藤周作が亡くなってからちょうど 30 年となります。没後 30 年を迎えるにあたって、遠藤周作の作品は現在どう読まれていますでしょうか。新たな解釈は可能でしょうか。日本の作家として、世界でどう翻訳されていますでしょうか。「遠藤周作 — 文化、時代、信仰を超えた作家との出会い」の講座では留学時代の日記から代表作品と評価されている「沈黙」まで作者の様々な「姿」を再発見して、遠藤周作の言葉は私たち、グローバル時代の読者にどのようなメッセージを送ってくれるのか、と一緒に考えましょう。

### 講座情報

講師	開催期間	受講対象者 定員	受講料	応募期限
ユスチナ・W・カシャ 外国語学部 教授	5月21日～6月11日 毎週木曜日 18:30-20:00	一般 24名	一般 4,000円 (全4回分)	4月30日(木) 必着

講座責任者：外国語学部 教授 ユスチナ・W・カシャ

### 必要な教材

特になし。講座内で使用する教材は講師がご用意いたします。

### 講座形式 対面形式

会場：西南コミュニティーセンター（西南学院大学内）※都合により、予告なく会場を変更する場合があります。

### コースのスケジュール

	開催日	内容・講義テーマ	
	5月21日(木)	オリエンテーション（初回講座開始5分前より）	社会連携課
1	5月21日(木)	遠藤周作は世界でどう読まれているのか — 翻訳から解釈へ	外国語学部 教授 ユスチナ・W・カシャ
2	5月28日(木)	遠藤周作と世界のキリスト文学	
3	6月4日(木)	フランスの留学時代 — 遠藤周作の日記を読みながら	
4	6月11日(木)	フランスワ・モーリアックの愛読者 — 遠藤周作と三島由紀夫	